

アンコール遺跡国際学術調査の日程・メンバー

第28次、第29次、第30次研究・調査

石澤良昭

I. 第28次アンコール遺跡調査

1. 調査期間：1999年11月11日～2000年1月25日（76日間）

2. 研究・調査地域：プノンペン、シェムリアップ（バンテアイ・クデイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地帯、アンコール遺跡群東部地域のタニ村地区、アンコール・ボレイ遺跡）

3. メンバー：

団 長：石澤良昭（上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括）
（建築関係）

リーダー：片桐正夫（日本大学理工学部教授、建築学・保存科学）

小杉孝行（石材技術指導員、建築学・修復調査）

崔 炳夏（日本大学理工学部研究生、建築学）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

高橋正時（日本大学理工学部研究生、建築学）

石津菜央（日本大学理工学部研究生、建築学）

香川正子（日本大学理工学部研究生、建築学）

片町 健（日本大学理工学部研究生、建築学）

荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Chhean Ratha（建築学、カンボジア人研修生）

Mao Sokny（建築学、カンボジア人研修生）

Heng Kunthea（建築学、カンボジア人研修生）

Phou Sochea（建築学、カンボジア人研修生）

（考古関係）

リーダー：上野邦一（奈良女子大学教授、考古学・発掘指導）

丸井雅子（上智大学共同研究員、考古学・発掘補助）

荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Keo Kinal（考古学、カンボジア人研修生）

Som Visoth（考古学、カンボジア人研修生）

Tin Tina（考古学、カンボジア人研修生）

Nuon Mony（考古学、カンボジア人研修生）

(カンボジア人石工および学生研修関係)

小杉孝行 (石材技術研修指導員、石工研修)
崔 炳夏 (日本大学理工学部研究生、建築学研修生の研修指導)
宮本康治 (大阪市文化財協会調査課調査員、考古学研修生の研修指導)
丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学研修生の研修指導)
Van Narat (カンボジア人石工)
So Sem (カンボジア人石工)
Pourn Ruos (カンボジア人石工)
Uch Chheth (カンボジア人石工)
Sngatt Yuon (カンボジア人石工)
Suong Touch (カンボジア人石工)
Hau Touch (カンボジア人石工)

(事務局)

荒樋久雄 (ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査)
丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学)

4. 調査概要

(1) 建築班

①西参道解体工事

西参道の敷き砂岩移動作業 (中央テラスから東へ (第1工区))
石材ストック・ヤード整備作業
石材調書作成

②アンコール遺跡群の調査 (開口部調査)

クメールの石造技術解明のため、アンコール遺跡群の遺跡を対象に継続的に調査を行なう

(2) 考古班

〈バンテアイ・クデイ D08 発掘調査〉

- ①発掘区の設定
- ②DU02 東部の煉瓦構築物の形状確認
- ③DO03 の形状確認
- ④DU03 東の暗渠の確認

〈アンコール・ボレイ調査〉

- ①実測、写真

(3) 人材養成プロジェクト

発掘関係実習・研修、修復実習・研修、環境調査実習、地質調査実習

II. 第29次アンコール遺跡学術調査

1. 調査期間：2000年2月15日～3月31日 (46日間)

2. 研究・調査地域：プノンベン、シェムリアップ（バンテアイ・クデイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地帯。アンコール遺跡群東部地域のルンターエック村地区）

3. メンバー：

団 長：石澤良昭（上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括）
（建築関係）

リーダー：片桐正夫（日本大学理工学部教授、建築学・保存科学）
小杉孝行（石材技術指導員、建築学・修復調査）
三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）
小島陽子（日本大学理工学部生、建築学）
荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）
Mao Sokny （建築学、カンボジア人研修生）
Heng Kunthea （建築学、カンボジア人研修生）
Phou Sochea （建築学、カンボジア人研修生）
Sok Vannisay （建築学、カンボジア人研修生）
Am Sopanareth （建築学、カンボジア人研修生）

（考古関係）

リーダー：上野邦一（奈良女子大学教授、考古学・発掘指導）
菱田哲郎（京都府立大学文学部助教授、
宮本康治（大阪市文化財協会調査課調査員、考古学・発掘調査）
丸井雅子（上智大学共同研究員、考古学・発掘補助）
荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）
隅田登紀子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査）
Som Visoth （考古学、カンボジア人研修生）
Tin Tina （考古学、カンボジア人研修生）
Nuon Mony （考古学、カンボジア人研修生）

（陶磁器関係）

リーダー：佐々木達夫（金沢大学文学部教授、考古学・発掘指導）
田中和彦（上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査）
野上建紀（有田町歴史民俗資料館調査員、発掘調査）
丸井雅子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査補助）
隅田登紀子（上智大学研究生、発掘調査）
Som Visoth （考古学、カンボジア人研修生）
Tin Tina （考古学、カンボジア人研修生）
Nuon Mony （考古学、カンボジア人研修生）

（社会文化・村落関係）

遠藤宣雄（上智大学アジア文化研究所共同研究員、遺跡エンジニアリング）

高橋宏明（上智大学アジア文化研究所客員研究員、教育文化調査）

（カンボジア人石工および学生研修関係）

小杉孝行（石材技術研修指導員、石工研修）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

宮本康治（大阪市文化財協会調査課調査員、考古学研修生の研修指導）

丸井雅子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学研修生の研修指導）

Van Narat （カンボジア人石工）

So Sem （カンボジア人石工）

Pourn Ruos （カンボジア人石工）

Uch Chheth （カンボジア人石工）

Sngatt Yuon （カンボジア人石工）

Suong Touch （カンボジア人石工）

Hau Touch （カンボジア人石工）

（事務局）

荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

丸井雅子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学）

4. 調査概要

（1）建築班

〈西参道修復工事〉

- ①西参道の敷石砂岩移動作業
- ②西参道の敷石砂岩の部材調書作成
- ③西参道の落下遺趾の撤去
- ④テラス部の砂岩移動
- ⑤西参道工事記録

〈アンコール地域遺跡の開口部調査〉

（2）考古班

バンテアイ・クデイ外回廊東南列柱殿西端より外回廊にかけての発掘

- ①ラテライト前身建物、外回廊、外回廊南東ポーチ、外回廊東南列柱殿の建築時期差、建築変遷の検証
- ②第26次調査にて検出された開渠の確認
- ③外回廊南東ポーチより前柱殿西側テラスまでの土層図の作成ならびに土層関係の検証
- ④ラテライト前身建物の西側立面図の作成

（3）窯跡班

アンコール時代の生産活動の実態を捉え、世界的に注目されている窯跡の保全活用を計画。すでにB1号窯跡の調査によってカンボジアで初めての窯跡構造が推測できた。しかし、破壊程度が進んでいたため、復元のために必要な情報を得るため、隣接するB4号窯跡を調査を実施。今後実施予定の窯跡復元・展示あるいは遺構露出展示のために必要な、燃焼室

及び焼成室の位置、規模、形態を、B4号窯跡の調査によって把握するための発掘調査を実施。カンボジア人考古学者による調査研究及び遺跡の保護活動が推進できるための、人材養成の実習現場であった。

(4) 人材養成プロジェクト

発掘関係実習・研修、修復実習・研修、環境調査実習、地質調査実習

Ⅲ. 第30次アンコール遺跡学術調査

1. 調査期間：2000年6月10日～9月5日（89日間）

2. 研究・調査地域：プノンペン、シェムリアップ（バンテアイ・クデイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地帯。アンコール遺跡群東部地域のタニ村地区）

3. メンバー：

団 長：石澤良昭（上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括）

（建築関係）

リーダー：片桐正夫（日本大学理工学部教授、建築学・保存科学）

小杉孝行（石材技術指導員、建築学・修復調査）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

香川正子（日本大学理工学部研究生、建築学）

片町 健（日本大学理工学部研究生、建築学）

大饗一輝（日本大学理工学部研究生、建築学）

野本大貴（日本大学理工学部研究生、建築学）

小島陽子（日本大学理工学部生、建築学）

荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Mao Sokny （建築学、カンボジア人研修生）

Heng Kunthea （建築学、カンボジア人研修生）

Phou Sochea （建築学、カンボジア人研修生）

Sok Vannisay （建築学、カンボジア人研修生）

Am Sopanareth （建築学、カンボジア人研修生）

（考古関係）

リーダー：上野邦一（奈良女子大学教授、考古学・発掘指導）

宮本康治（大阪市文化財協会調査課調査員、考古学・発掘調査）

丸井雅子（上智大学共同研究員、考古学・発掘補助）

荒樋久雄（ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

隅田登紀子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査）

Keo Kinal （考古学、カンボジア人研修生）

Som Visoth （考古学、カンボジア人研修生）

Tin Tina (考古学、カンボジア人研修生)

Nuon Mony (考古学、カンボジア人研修生)

(陶磁器関係)

リーダー：青柳洋治 (上智大学外国語学部教授、考古学・発掘指導)

佐々木達夫 (金沢大学文学部教授、考古学・発掘指導)

田中和彦 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査)

野上建紀 (有田町歴史民俗資料館調査員、発掘調査)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、発掘調査補助)

隅田登紀子 (上智大学研究生、発掘調査)

田畑幸嗣 (国際基督教大学アジア文化研究所非常勤助手、考古学)

Som Visoth (考古学、カンボジア人研修生)

Tin Tina (考古学、カンボジア人研修生)

Nuon Mony (考古学、カンボジア人研修生)

(カンボジア人石工および学生研修関係)

小杉孝行 (石材技術研修指導員、石工研修)

三輪 悟 (日本大学理工学部研究生、建築学)

宮本康治 (大阪市文化財協会調査課調査員、考古学研修生の研修指導)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学研修生の研修指導)

Van Narat (カンボジア人石工)

So Sem (カンボジア人石工)

Pourn Ruos (カンボジア人石工)

Uch Chheth (カンボジア人石工)

Sngatt Yuon (カンボジア人石工)

Suong Touch (カンボジア人石工)

Hau Touch (カンボジア人石工)

(事務局)

荒樋久雄 (ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学)

4. 調査概要

(1) 建築班

〈西参道修復工事〉

- ①西参道の敷石砂岩ラテライトの移動作業
- ②西参道の敷石砂岩ラテライトの部材調書作成
- ③西参道工事記録

〈アンコール地域遺跡調査〉

- ①クメール建築の構造技術解明のための遺跡調査
- ②東参道の規模の確認

③東参道の構造形式の確認

④十字テラスと東参道との高低差の検証

⑤北小祠堂ならびに東参道の建築時代差の確認

(2) 考古班

バンテアイ・クデイ東参道とその周辺の解明

(3) 窯跡班

アンコール時代のB1号窯跡に隣接するB4号窯跡を調査し、完了。今後、タニ窯との比較や展示方法の検討のためにタイ北部の窯跡等を調査する必要あり。さらに、タニ窯跡群の文化遺産としての重要性を関係者及び地域住民に理解してもらえるプログラムを実施していく予定。

(4) 人材養成プロジェクト

発掘関係実習・研修、修復実習・研修、環境調査実習、地質調査実習